

共に創り、次世代に繋ぐ 住民懇談会

アンケート・意見まとめ

富士見町の未来について考える対話の会

空の
恵みが
届く町



富士見町
Fujimi town

計181名参加

ポストイット総数 607枚、アンケート回答 112件(回答率 61.9%)



内容

*昨年度までの住民懇談会とは内容を大きく変更しています。

情報共有

- ① 課題（人口推計や財政シミュレーション）と可能性
- ② 住民福祉の維持向上のために必要な「選択と投資」の政策



グループワーク

- ① 選択（支出減）と投資（収入増）のために住民・行政ができること
- ② 各グループで話し合った内容を全体に共有



住民懇談会の目的

1

✓ 「選択と投資」に対する理解の促進

2

✓ 「共に創る」住民参加のまちづくりの促進



3

✓ 今後はテーマごとの対話の会へ

空の
恵みが
届く町



富士見町
Fujimi town

01 アンケート

02 選択・投資の意見

空の
恵みが
届く町



富士見町

Fujimi town

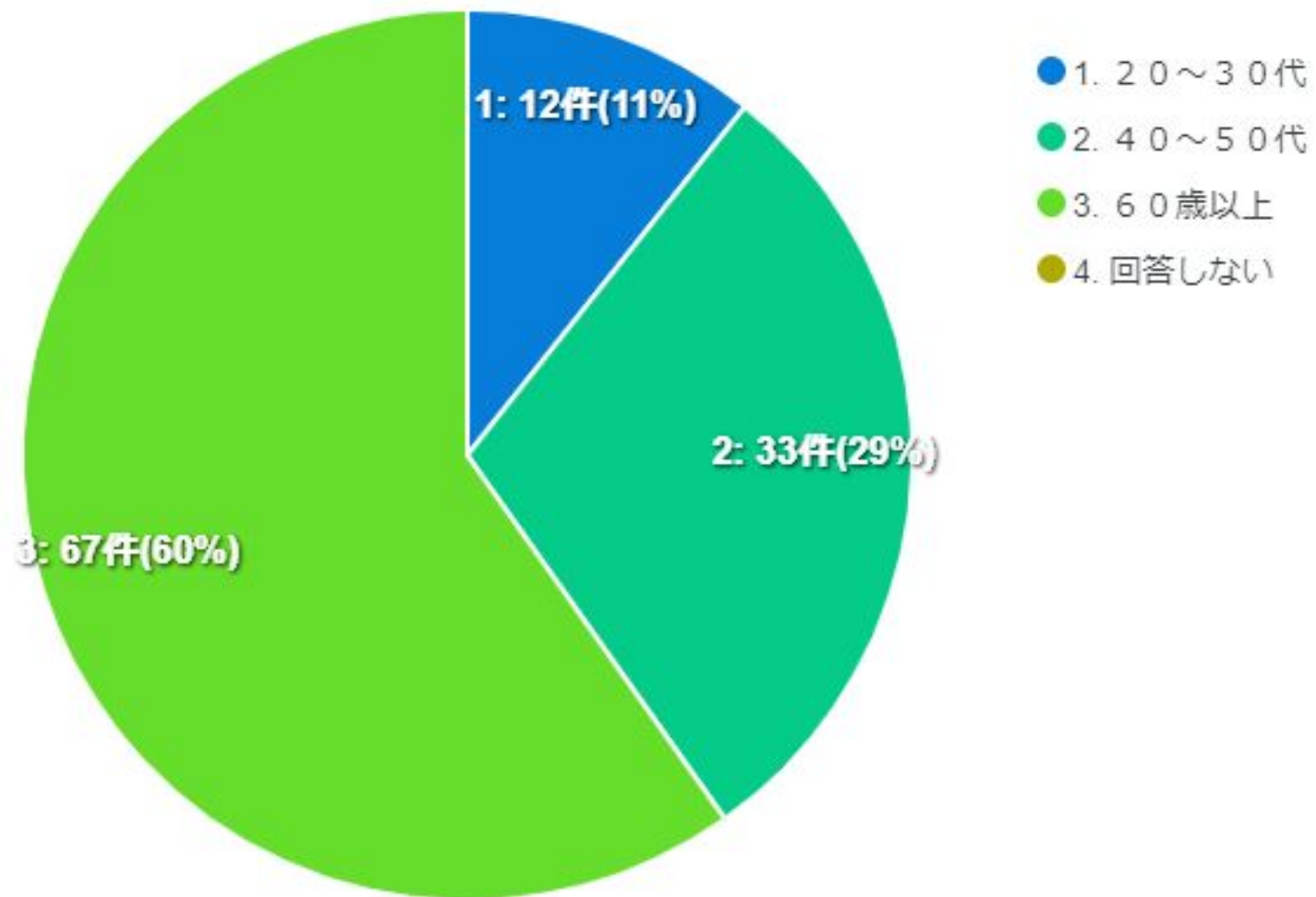
01 アンケート

02 選択・投資の意見



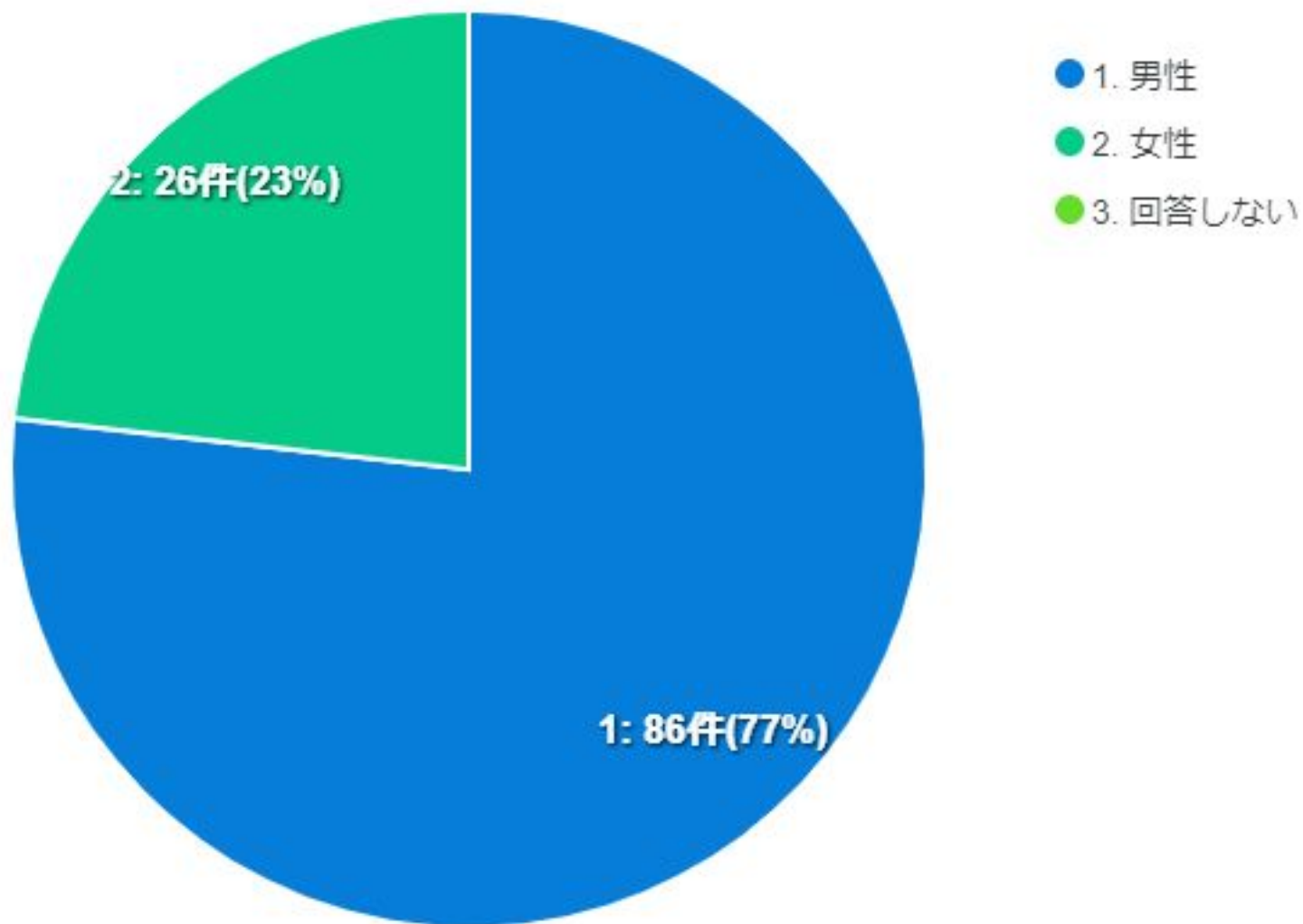
Q1. 年齢

6割が60歳以上＝若い世代の参画が必要



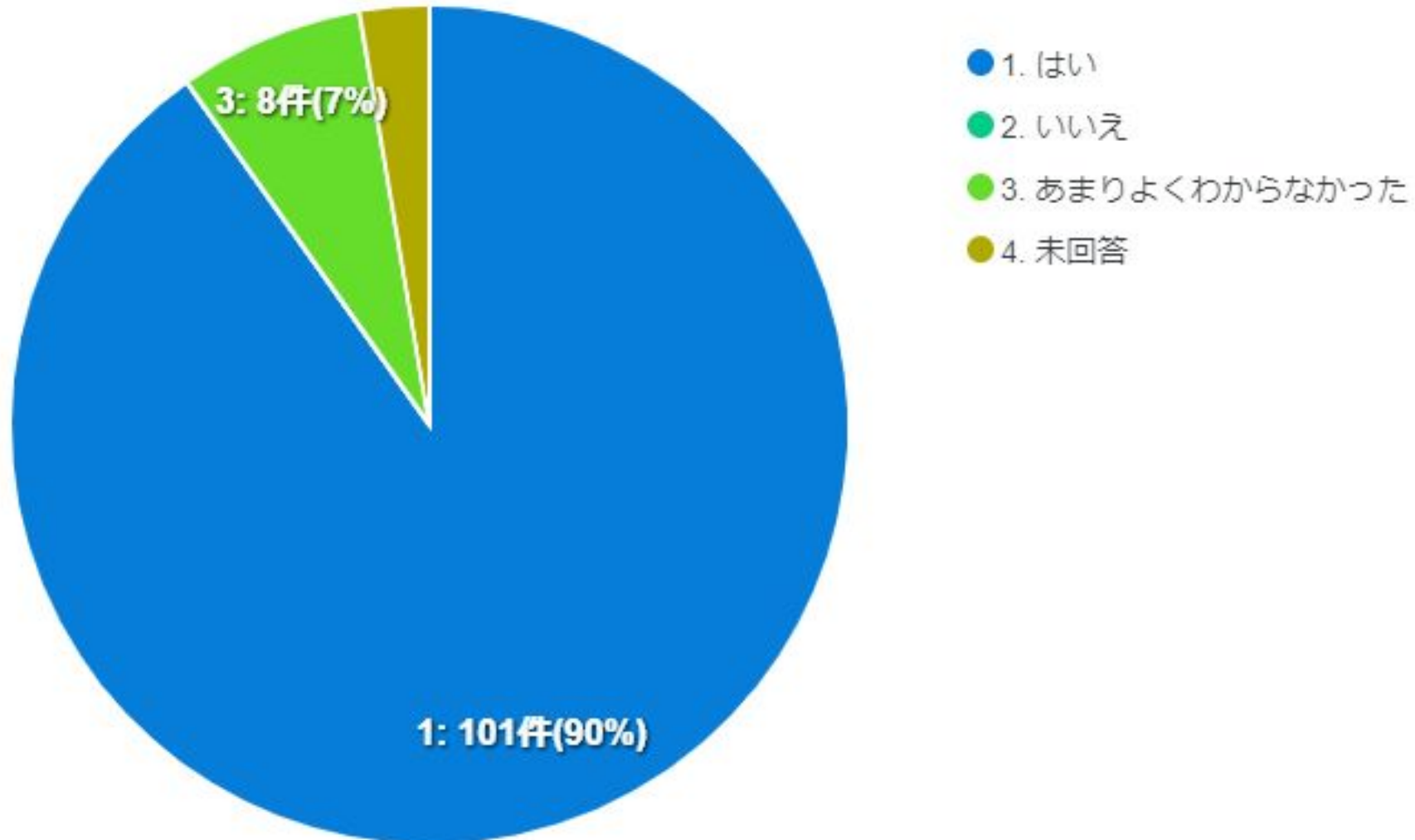
Q2. 性別

8割近くが男性＝女性の参画が必要



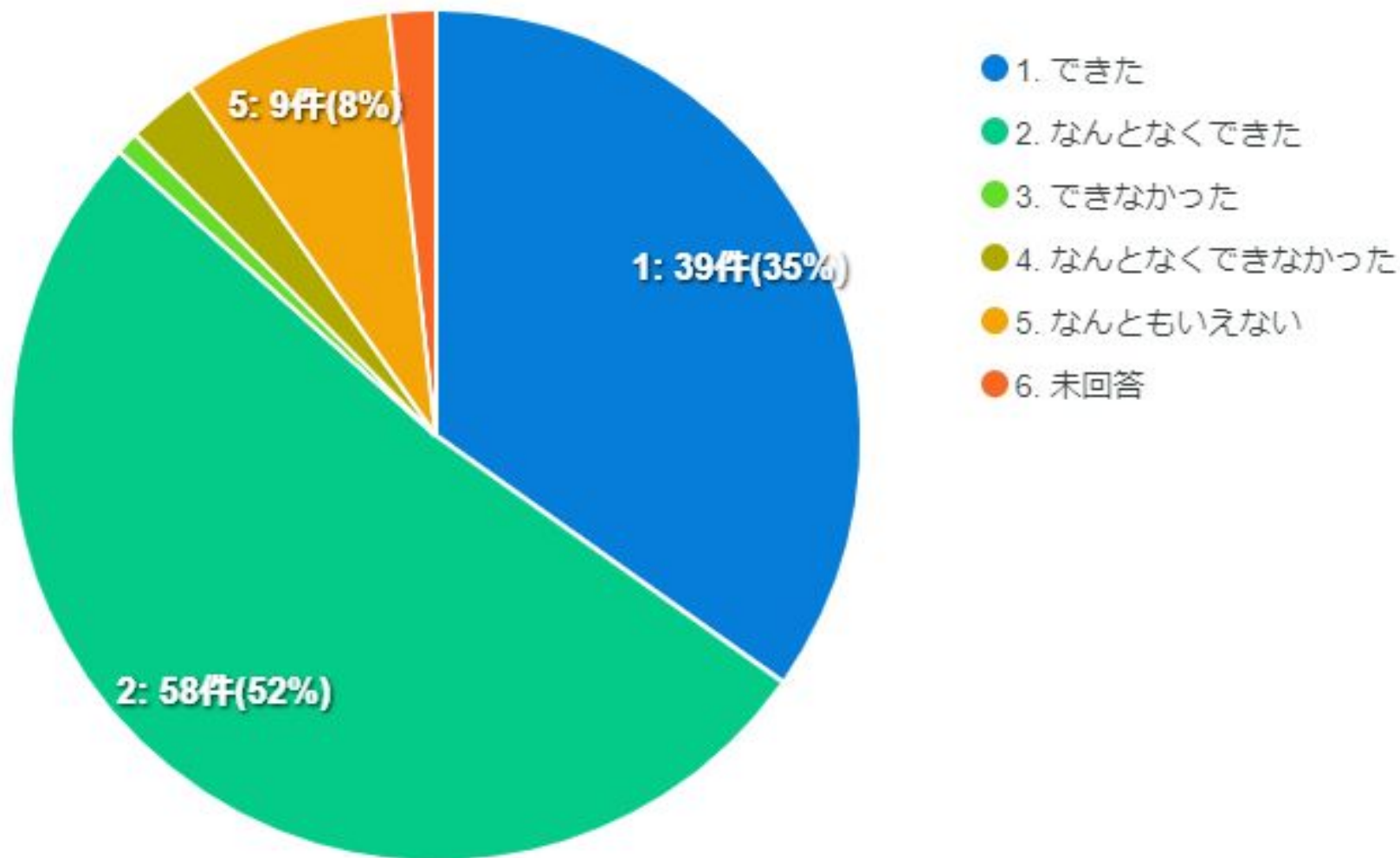
Q3. 町の人口・財政的な課題についての説明を聞いて、ご自身の仕事や生活に直結する課題として捉えることができましたか？

9割の参加者が町の課題を自分ごと化できた



Q4. 行政と住民、それぞれができることについて、イメージすることができましたか？

8割が行政・住民のできることをイメージできた／なんとなくできた
「できた」の回答率を上げ、「住民ができること」を増やすことが必要



Q5.町の抱える課題(心配事)、町の持つ可能性(伸びしろ)について、ご意見があれば記入してください。

いま50億の貯金が5年後には0になる！出生数も減、というショッキングな事実。まずこの事実全町民が共有しなければならぬので、もっとたくさんの住民からのアイデアを募っていただきたいです

正直、財政の状況には驚きました。
いま、気づいてよかったと思います。

町の財政状況がこれほどひっ迫していることに驚きました。高齢化が進行中、必要な経費を削ることができない状況、身の丈に合った財政管理が必要ではないか。

高齢化による支出よりもハードの費用による負担が深刻なことがわかりました。生き残るためには魅力を自覚して、本当に残したいものがあれば、他を捨てる覚悟も必要だと思いました。

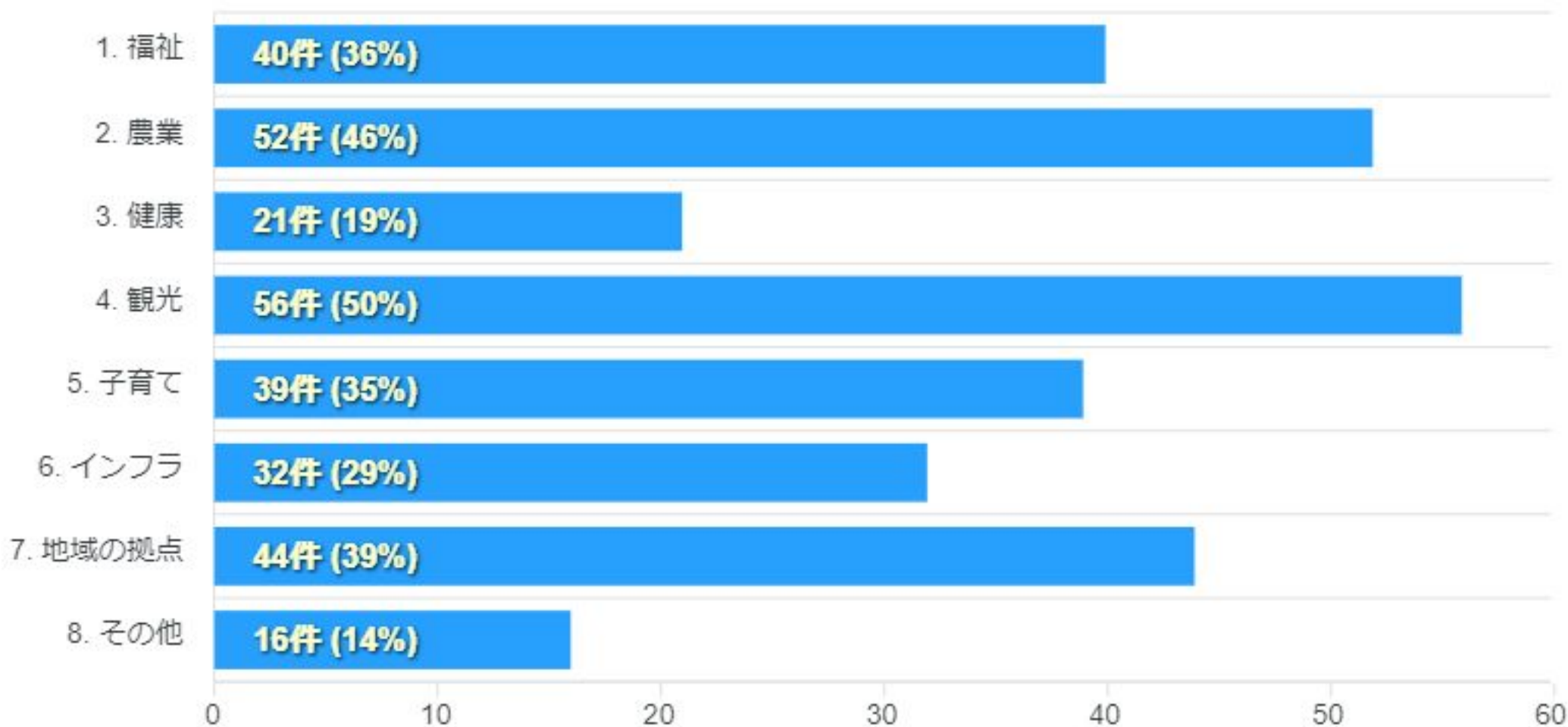
この富士見町には豊かな資源があります。当たり前のようにある自然も一朝一夕に手に入るものではありません。多くの人が惹きつけられてこの地を訪れるのはその為です。富士見町には縄文の頃からの歴史もあり、そういった意味でも重要な土地だと感じます。観光や移住関係でもまだまだ打っていない手が沢山あるはずです。その隠れた伸び代をみんなでアイデアをこうして出し合えば良い未来につながると思っています

選択(支出削減)について、私のグループでは意見が出にくい状況でしたが、それはどこにいくら投資していて、どのような費用対効果があったのか、住民は検証結果を詳しく知らないことが原因だと感じました。状況を把握していなければ、町の事業に対して住民目線での優先順位をつけることもできないため、情報開示がより重要になると思います。

今後待ち受けている町の課題がよりオープンになれば、町政に対する住民の理解が多少なりとも促進され、自治体と住民との対立構造は多少なりとも緩和されるかもしれません。

Q6. 今後、各テーマに沿ったワークショップを開催する場合、話し合ってみたいテーマはありますか？（複数選択可）

観光・農業・地域拠点がトップ3



Q7. 今回の住民懇談会の実施方法について、良かった点、悪かった点などのご意見があれば記入してください。(自由記述)

ワークショップが良かった点として、**ファシリテーターが職員さんだったのも良かった**と思います。職員の皆様にとっては、住民の意見を直接聴ける機会になりますし、住民も職員の皆様と“気軽に”コミュニケーションが取れる、質問できる良い機会になりました。意見を否定しないという条件も良質なコミュニケーションが取れる雰囲気づくりになっていました。そして、**ワークショップという「参加型」の住民懇談会というのが、自治体に対する批判合戦に終始していた状況を一変させたのではないかと思います。**

ワークショップが予想以上に盛り上がっていたので、**住民参画の可能性**を感じた。

タイムリミットが5年という説明、**来年の住民懇談会では行政としての提案に期待**します。

もう少し時間を取ってほしい

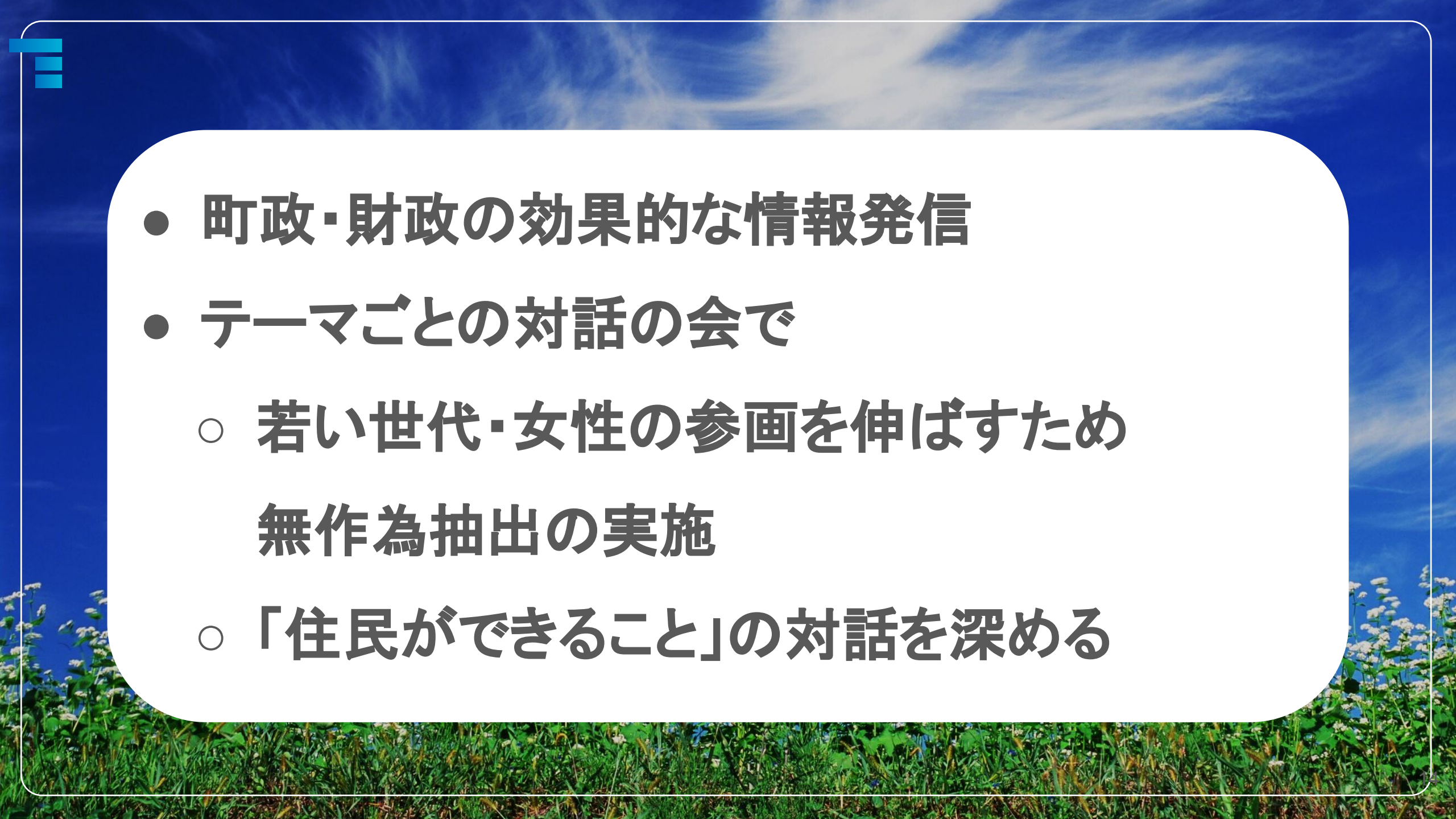
参加者を増やしたい
毎年の同じ方が参加しているだけ…


町の財政状況がわかって良かったです。**町民も力を出し合っ**て、**難局を乗り越えたいという気持ちになりました**。グループワークがよかった。ファシリテーターをしてくださった**職員の方がとても穏やかな雰囲気**で進めてくださり、**安心して話**ができました。新しい町長が**目指すものが、今後も絶えることなく**発信され、理解が進むことを祈ります。

ファシリテーション(職員)について、ラベルの解説は書いた本人にまかせる、全体共有の発表の項目指示は**いかがか**。また、住民同士の意見共有の場でもあるはず。「異論歓迎」も。まずは第一ステップですね。

ワークショップのテーマが多く、あまり深く考えられなかったので、**対話のスケジュールにあるいくつかの会に参加したい** と思いました。

生産年齢人口を増やしたいのに、この場にその年齢層が出れていないのが**問題**。今回の説明をそのまま動画で全町民が観れるようにしてほしい。半義務化してほしい。

- 
- **町政・財政の効果的な情報発信**
 - **テーマごとの対話の会で**
 - **若い世代・女性の参画を伸ばすため
無作為抽出の実施**
 - **「住民ができること」の対話を深める**



本気で行政財政改革を進める必要性
これからが試される

空の
恵みが
届く町



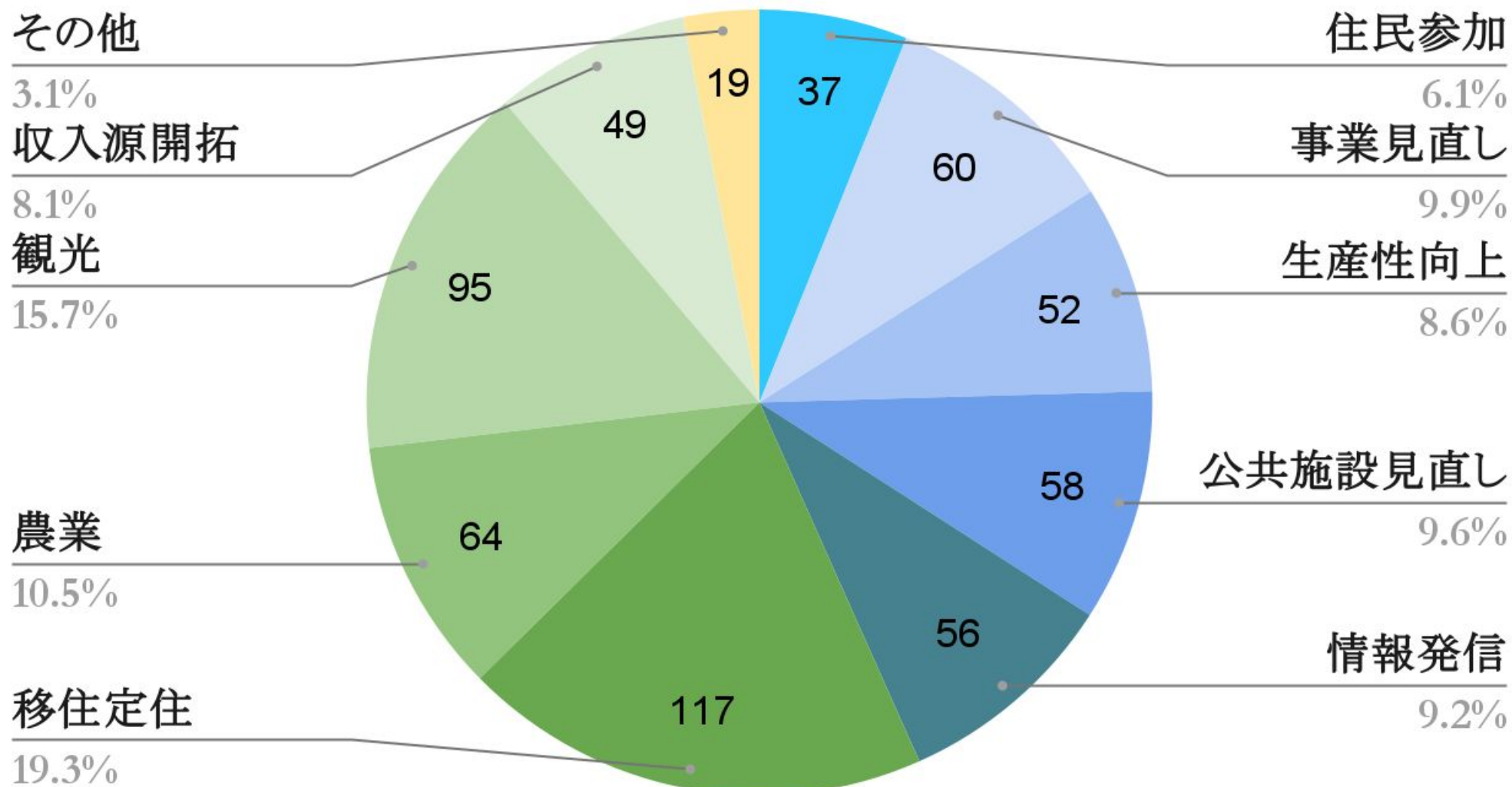
富士見町
Fujimi town

01 アンケート

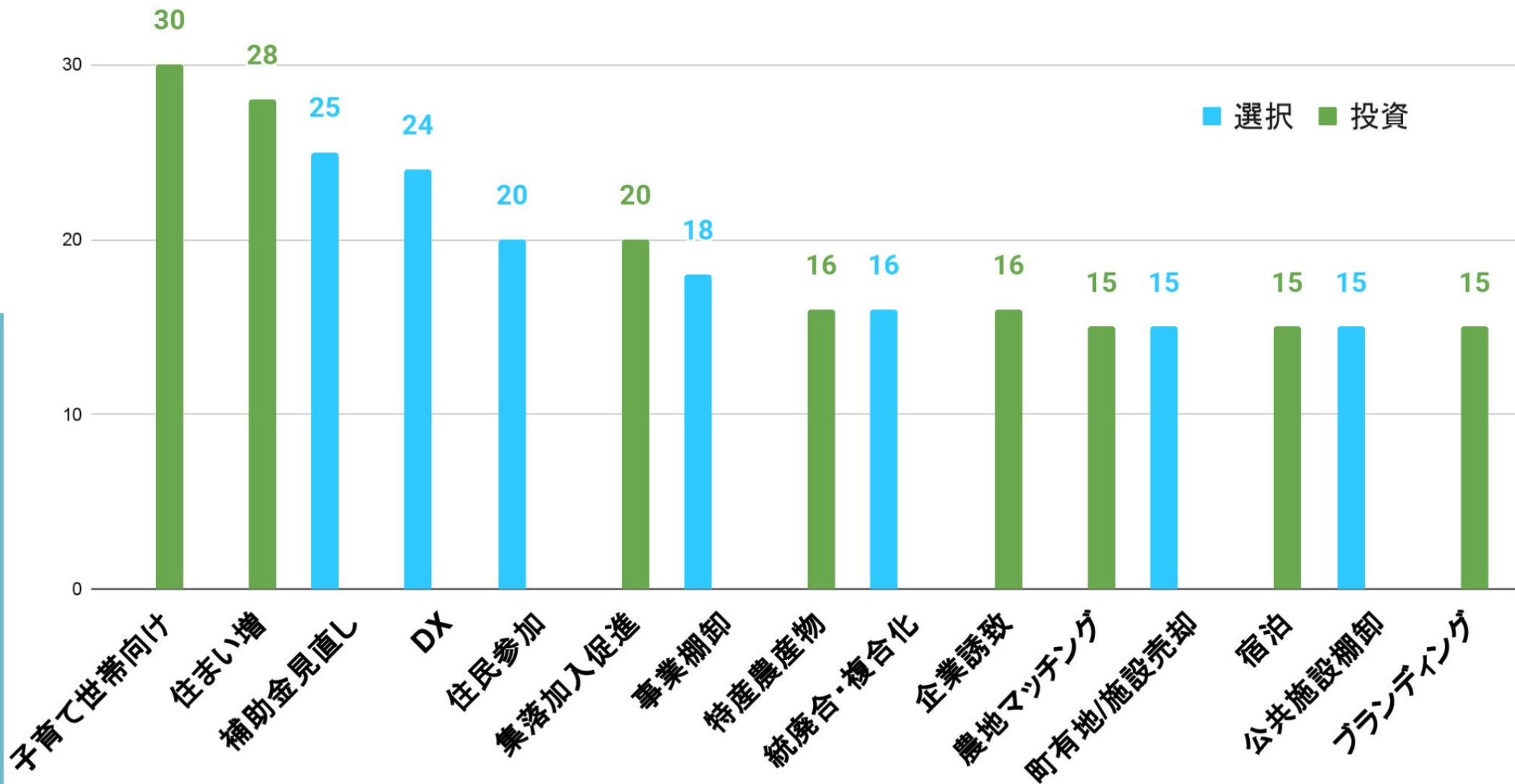
02 選択・投資の意見

全テーマの住民意見割合

63%が投資(収入増)、36%が選択(支出減)の意見

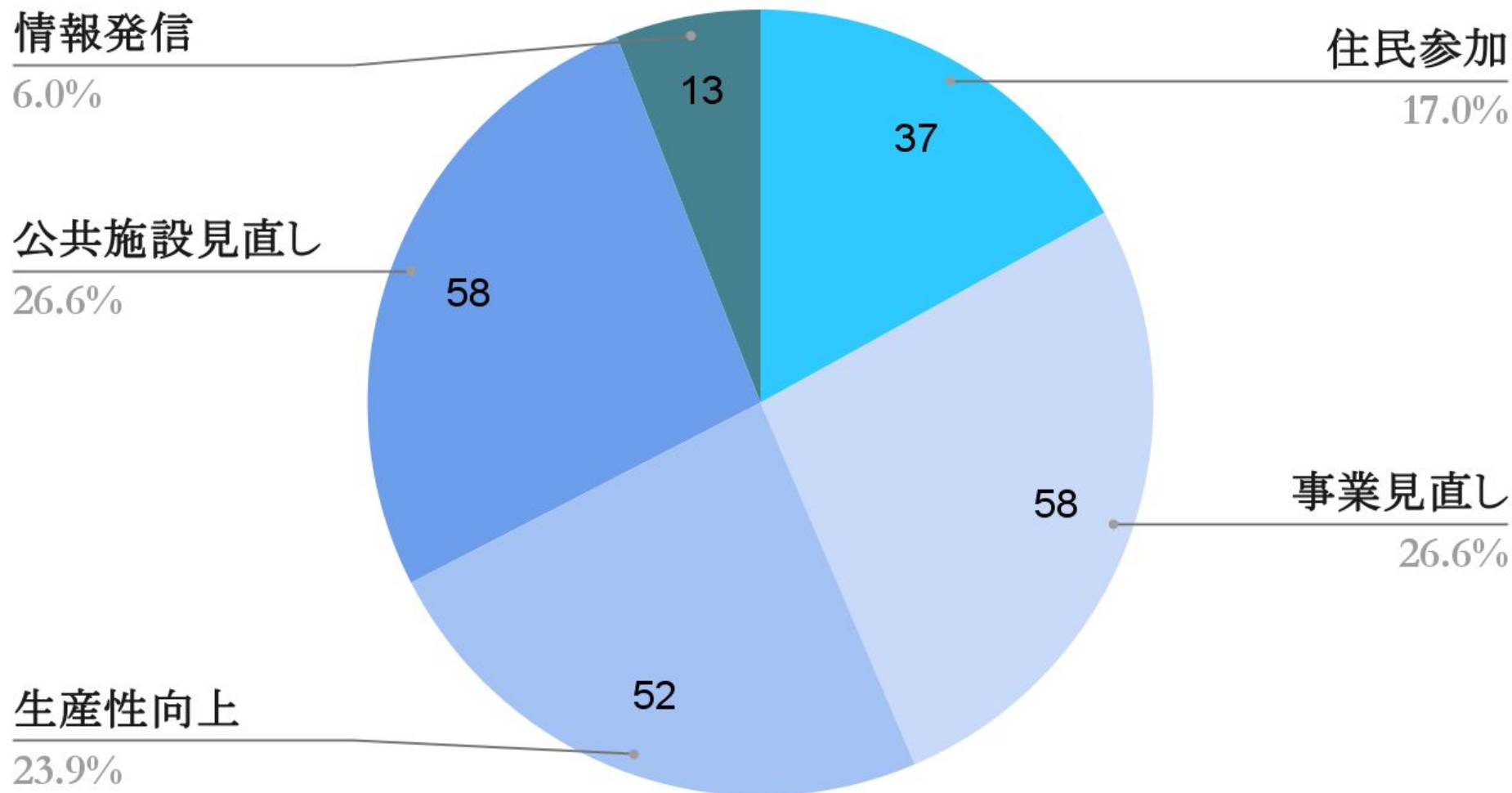


投資は移住関係の意見がまとまり、選択は事業・生産性・住民参加に分散



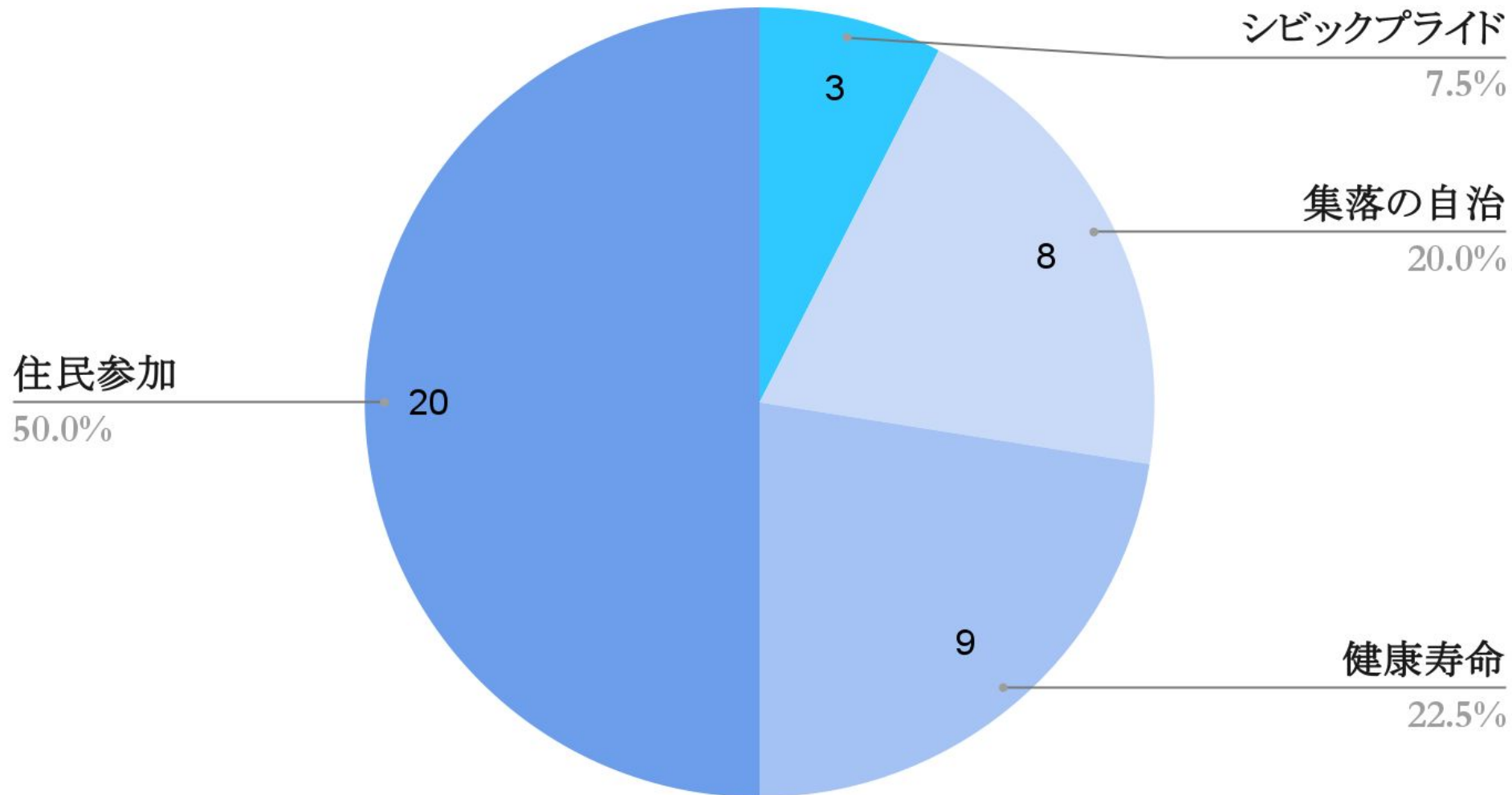
【選択(支出減)】全テーマ

事業・生産性・公共施設は偏ることなく多くの意見が出たが
町政に関する情報発信や住民参加についての意見も多い

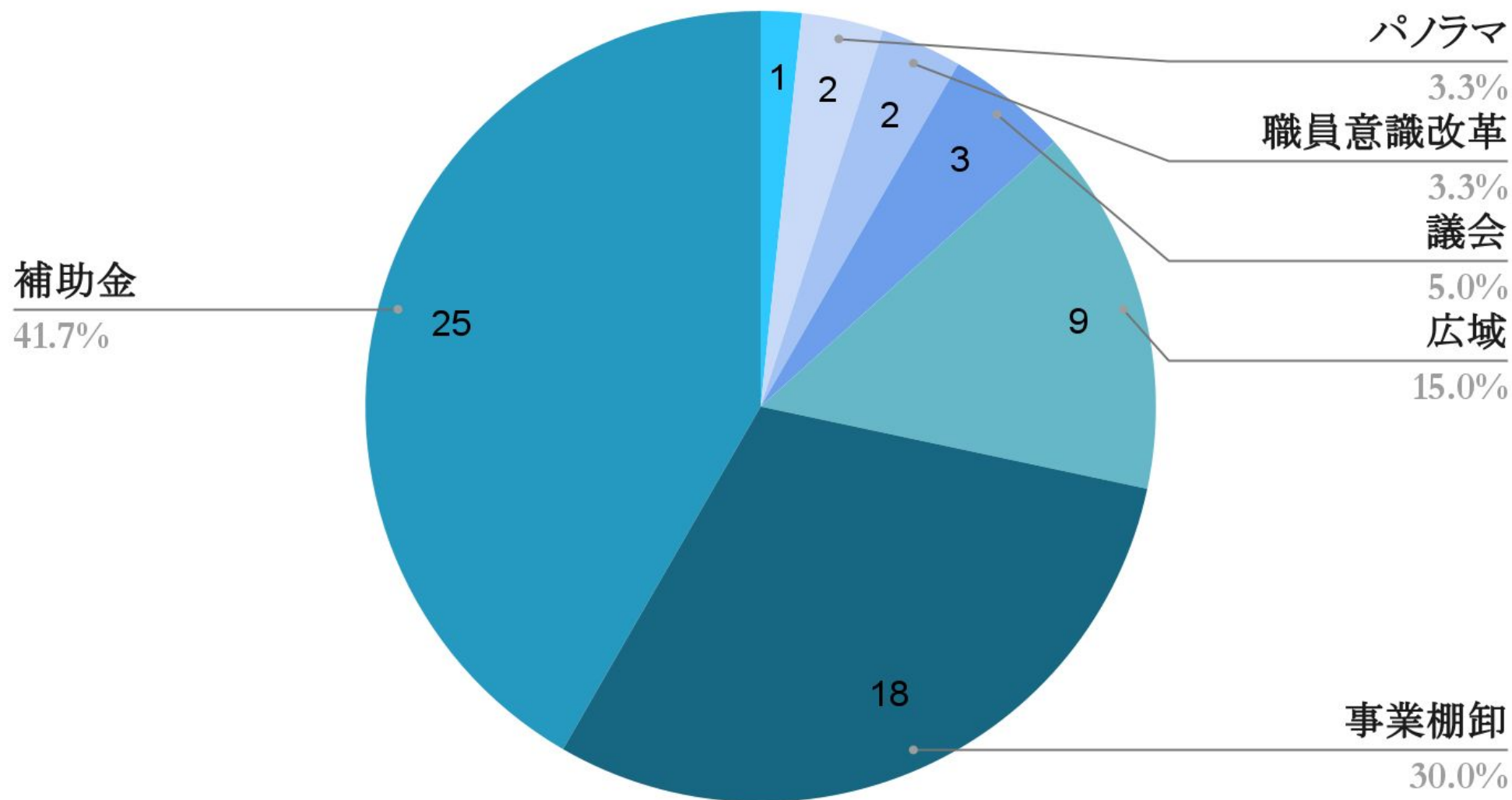


【選択(支出減)】テーマごと:住民参加

住民も関心を持つ・できることは自分でやる・長く健康でいる、といった意見が多い

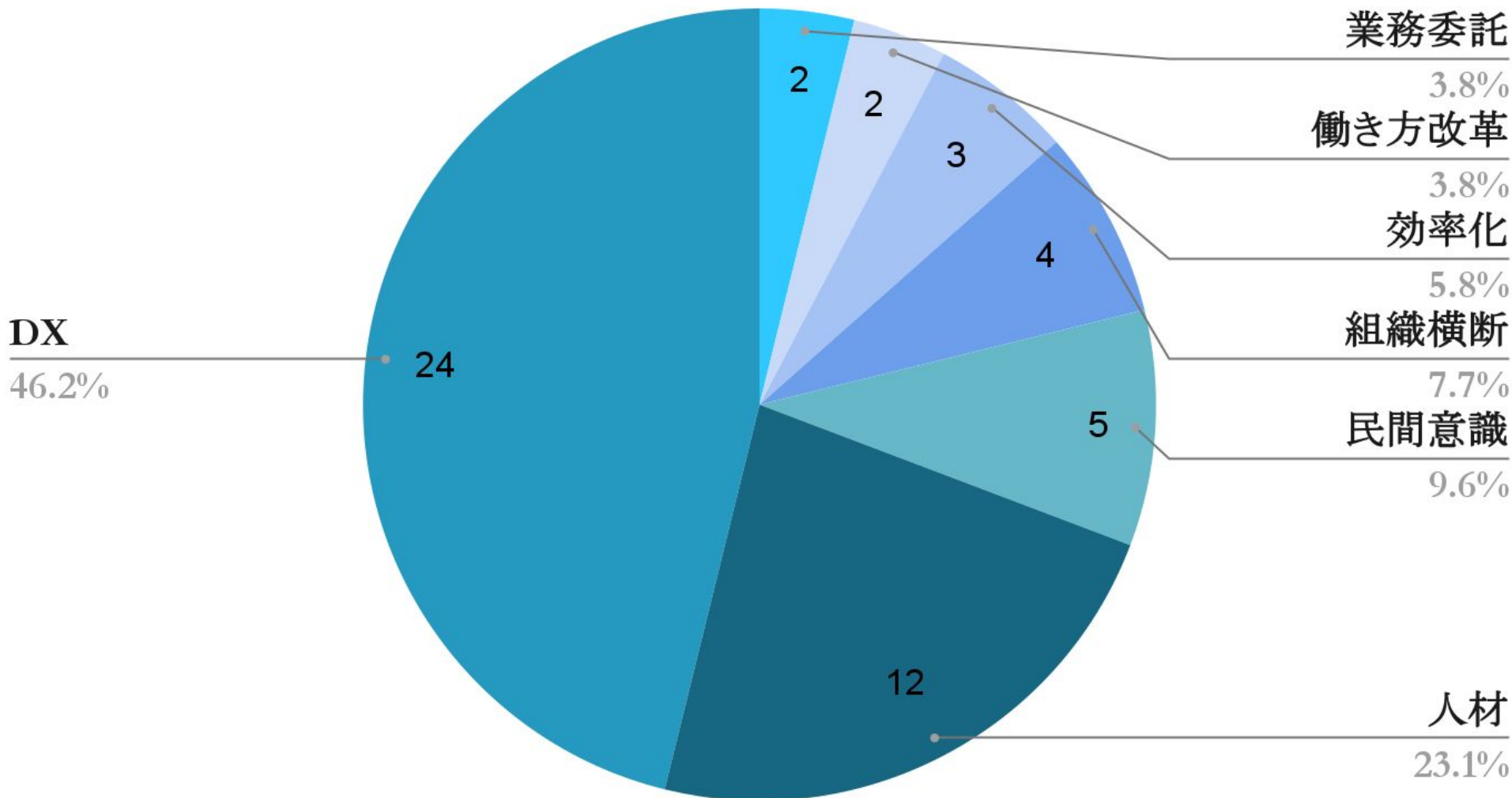


補助金の効果検証、続いて不要と思われる事業の見直しを求める声大きい



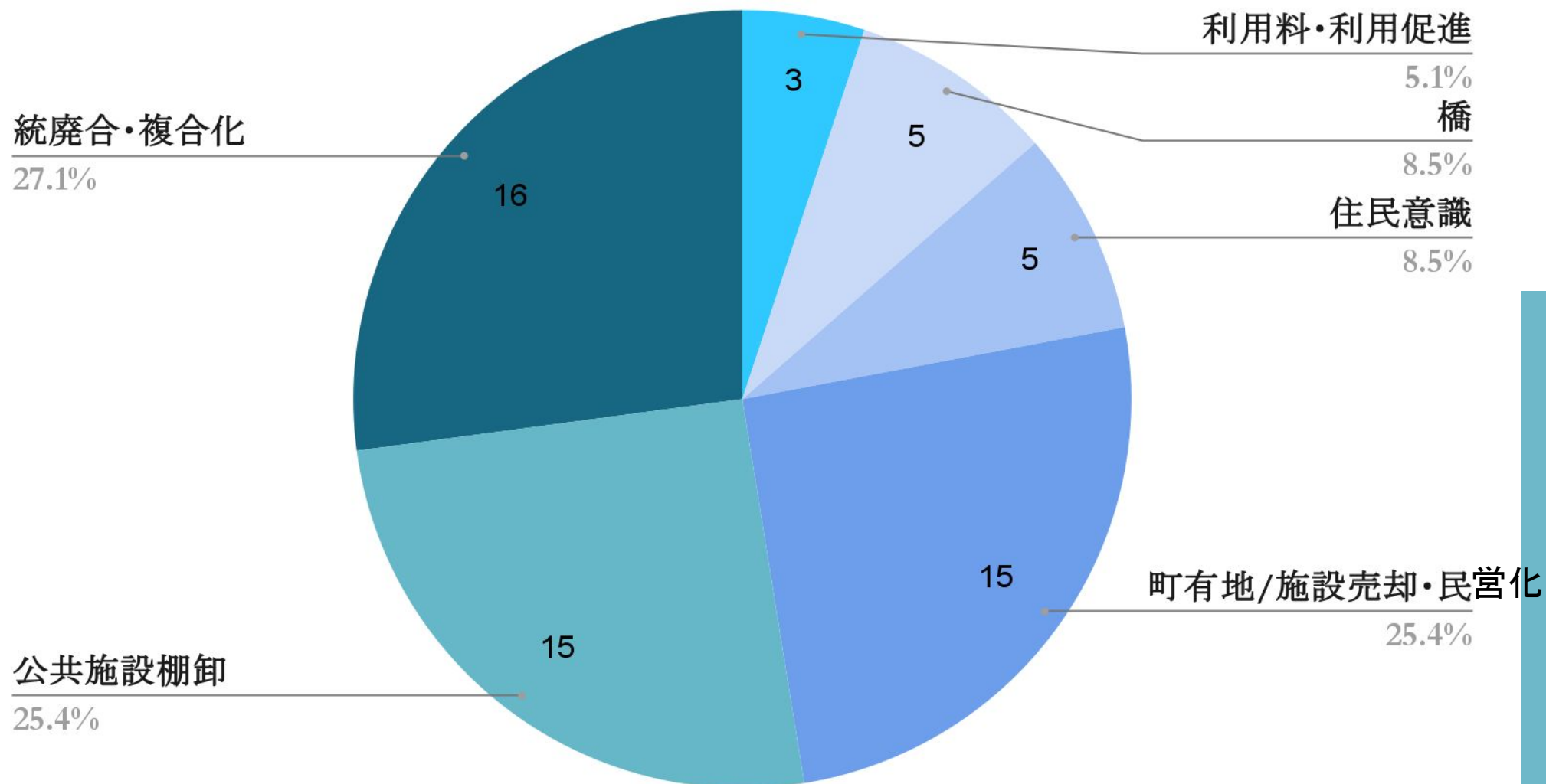
【選択(支出減)】テーマごと:生産性向上

行政事務へのAIの活用やペーパーレス化などのDX、また外部/民間人材活用の意見も多い

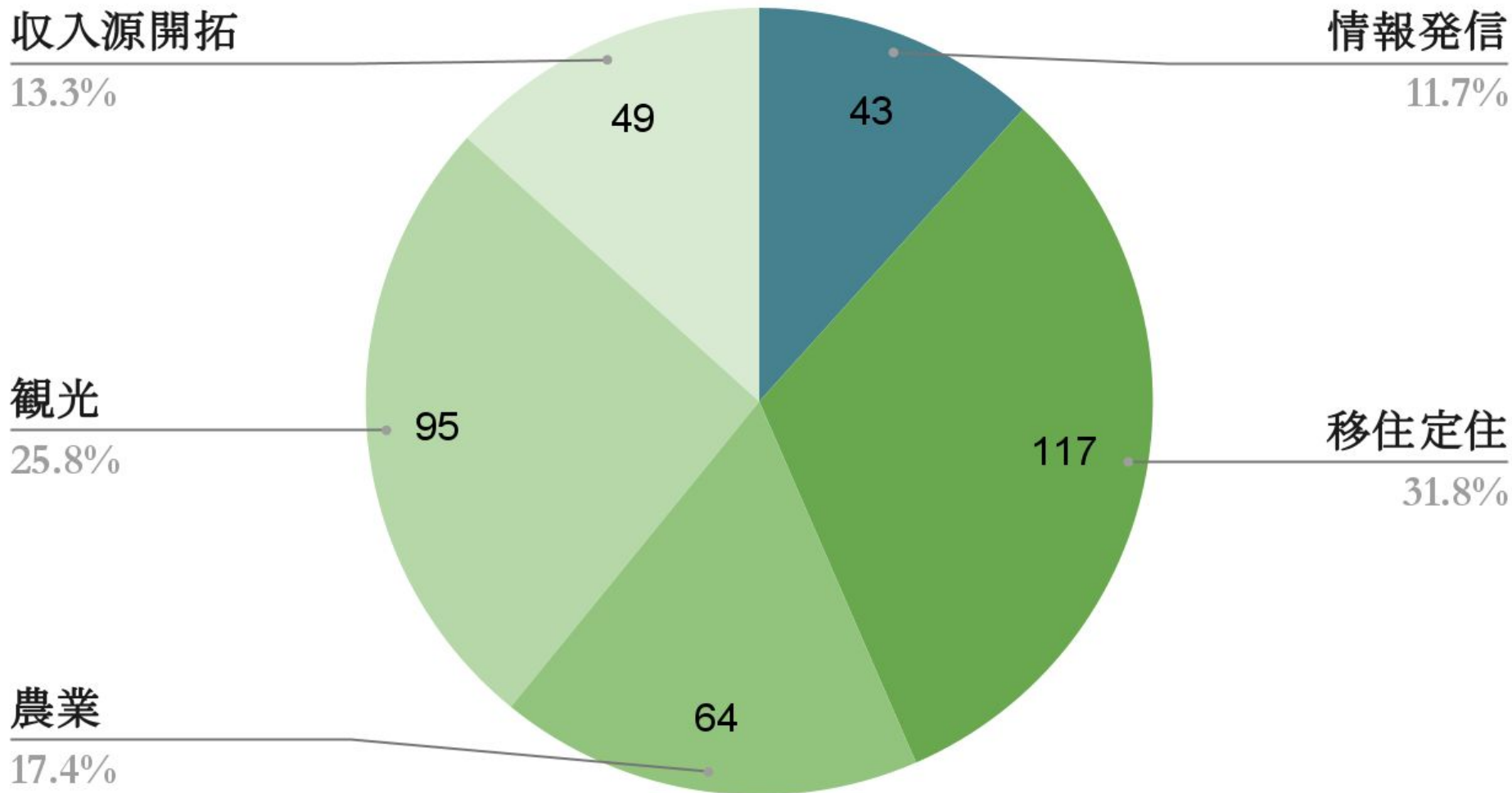


【選択(支出減)】テーマごと: 公共施設見直し

統廃合(特に小学校)の意見、全体の棚卸し、町有地売却や公共施設民営化が多い

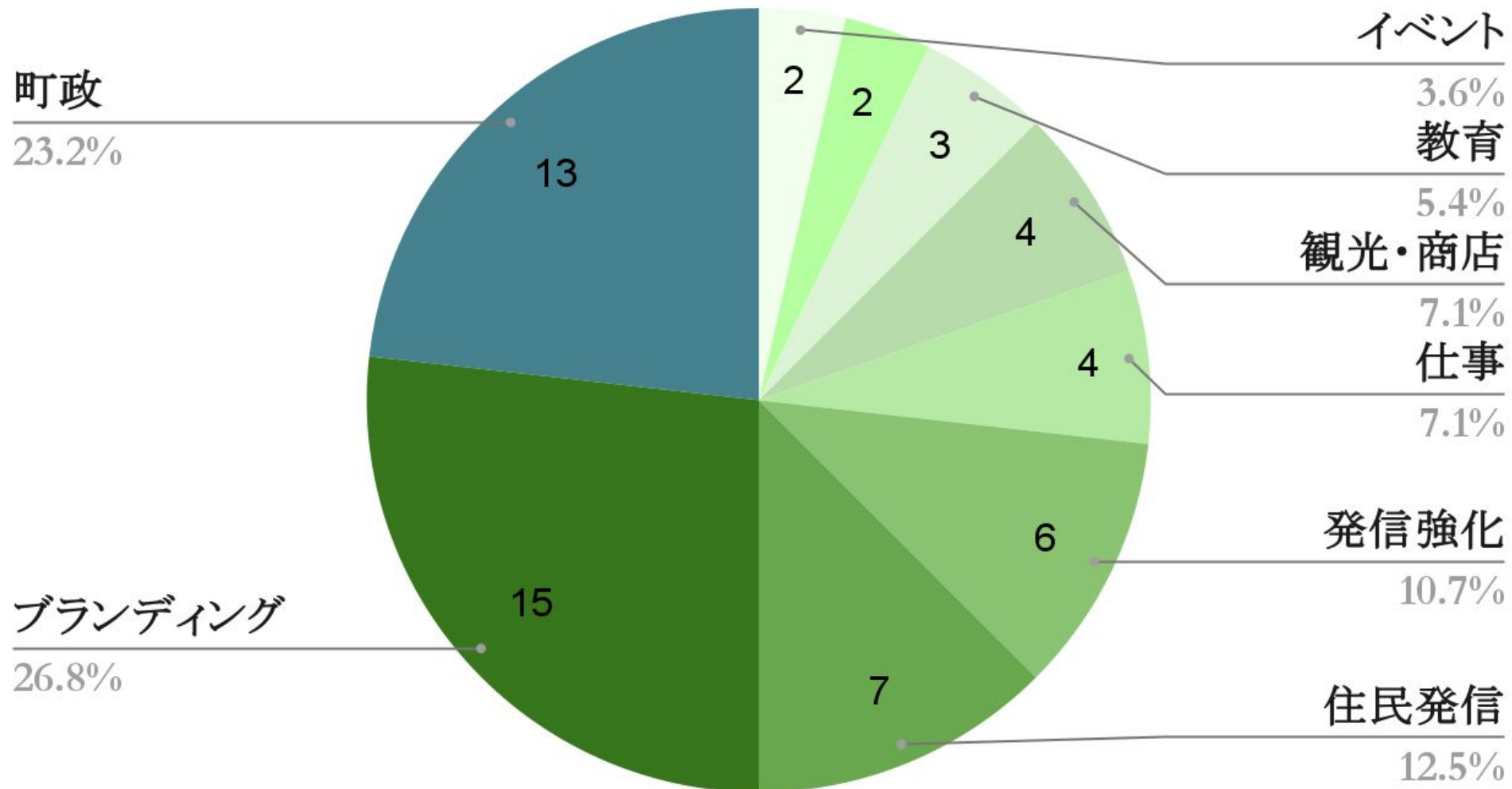


移住定住・観光への意見を中心に、多様なアイデアの提供がある



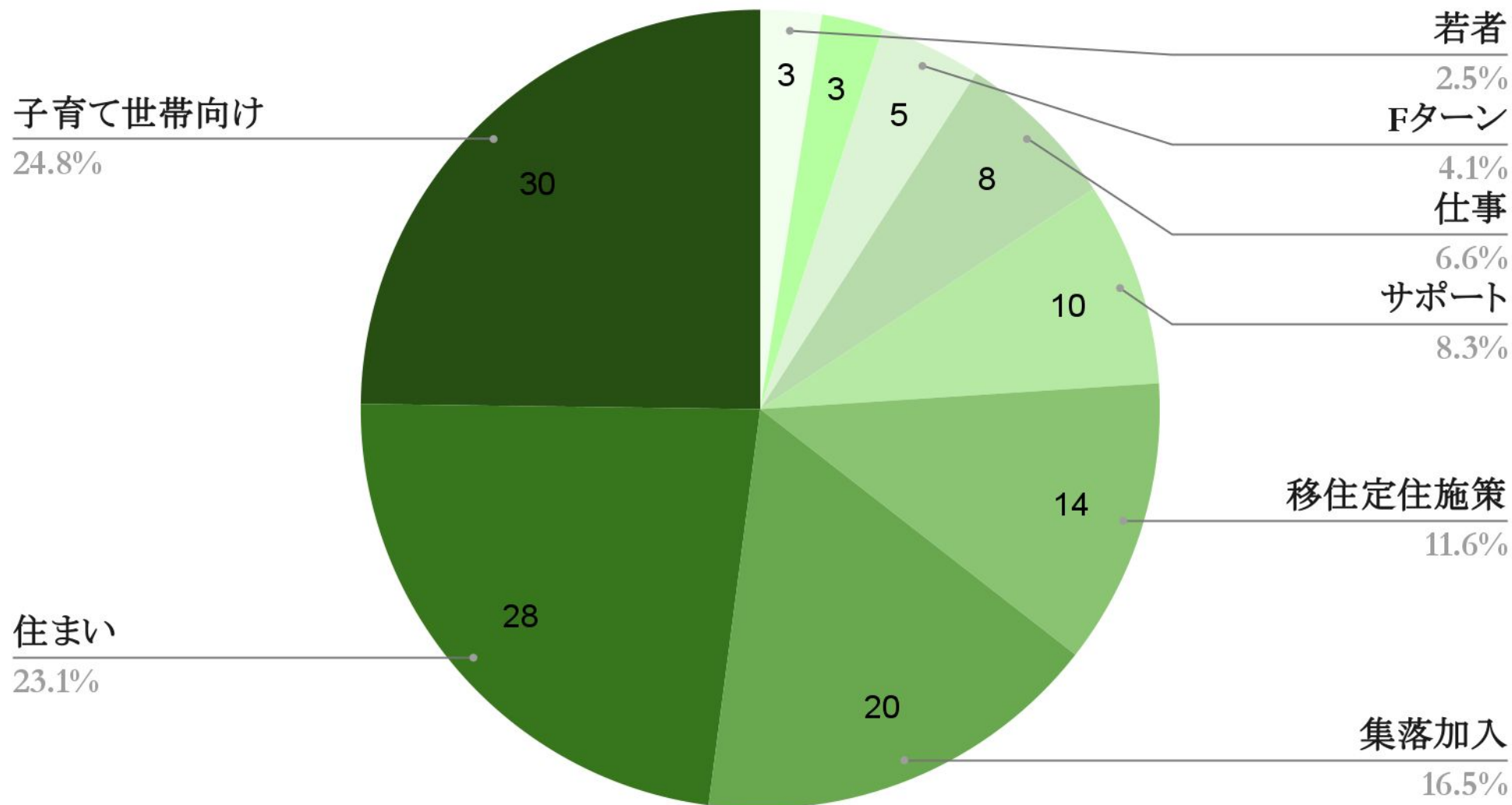
【選択(支出減)・投資(収入増)】テーマごと:情報発信

ブランディングや住民による町外への発信強化を求める声が多いが
町内への町事業の情報を求める声、住民による発信の提案も多い



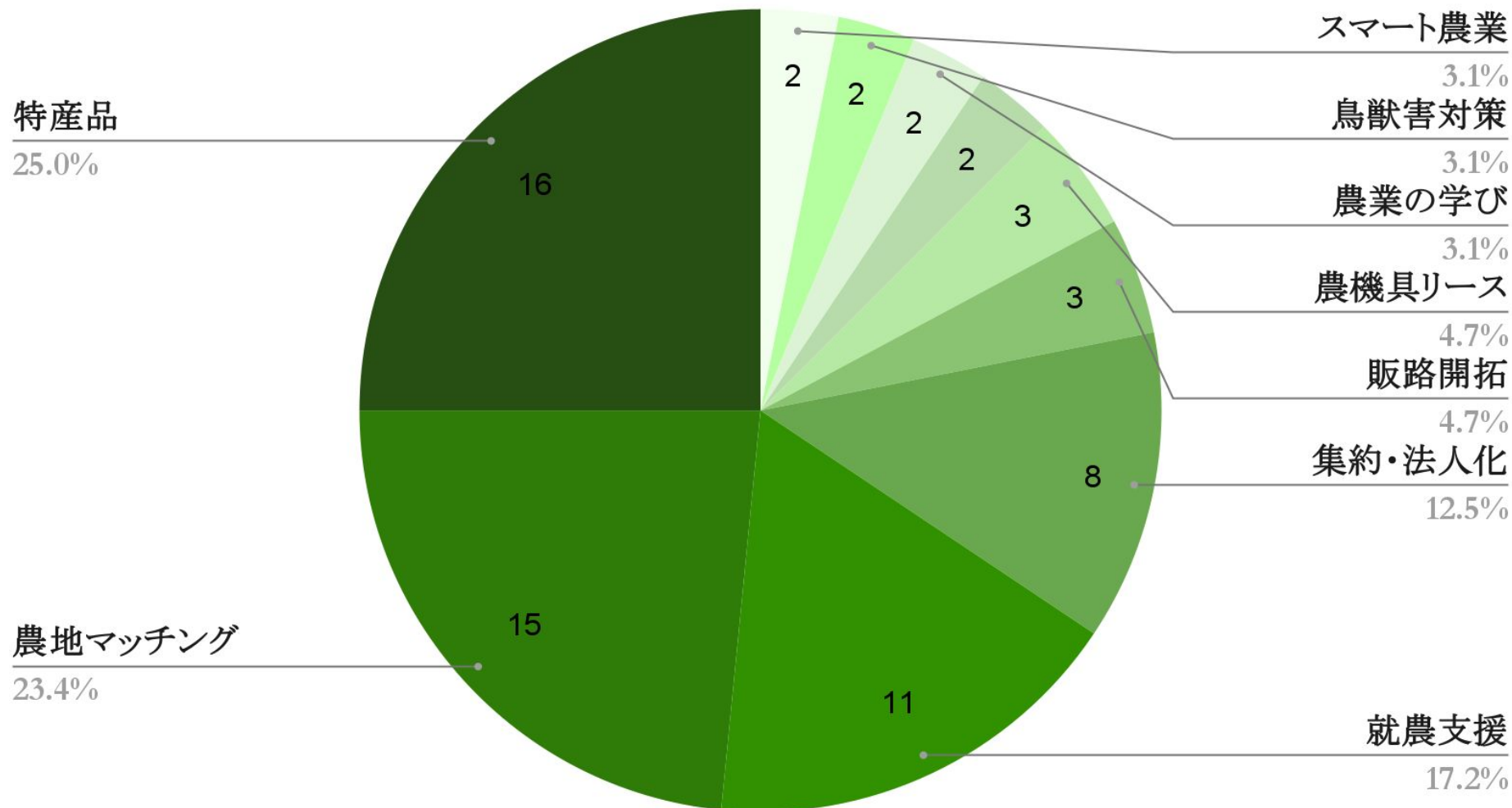
【投資(収入増)】テーマごと:移住定住

子育て世帯をターゲットに絞った移住定住施策や
住まいの物件づくり、集落加入を求める声が多い



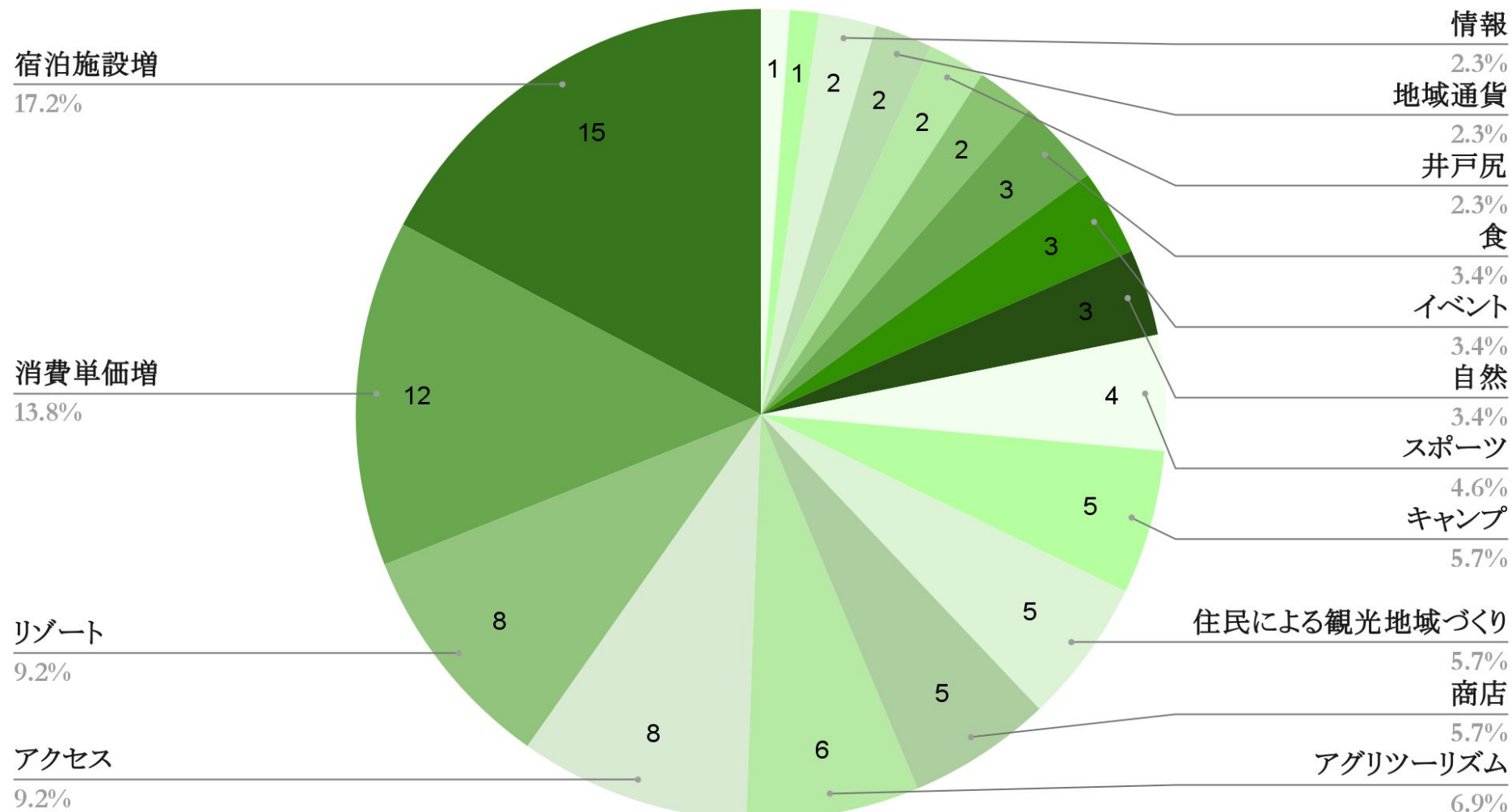
【投資(収入増)】テーマごと: 農業

特産農産物・農地マッチング・就農支援など
農業を次世代に繋ぐための意見が多い



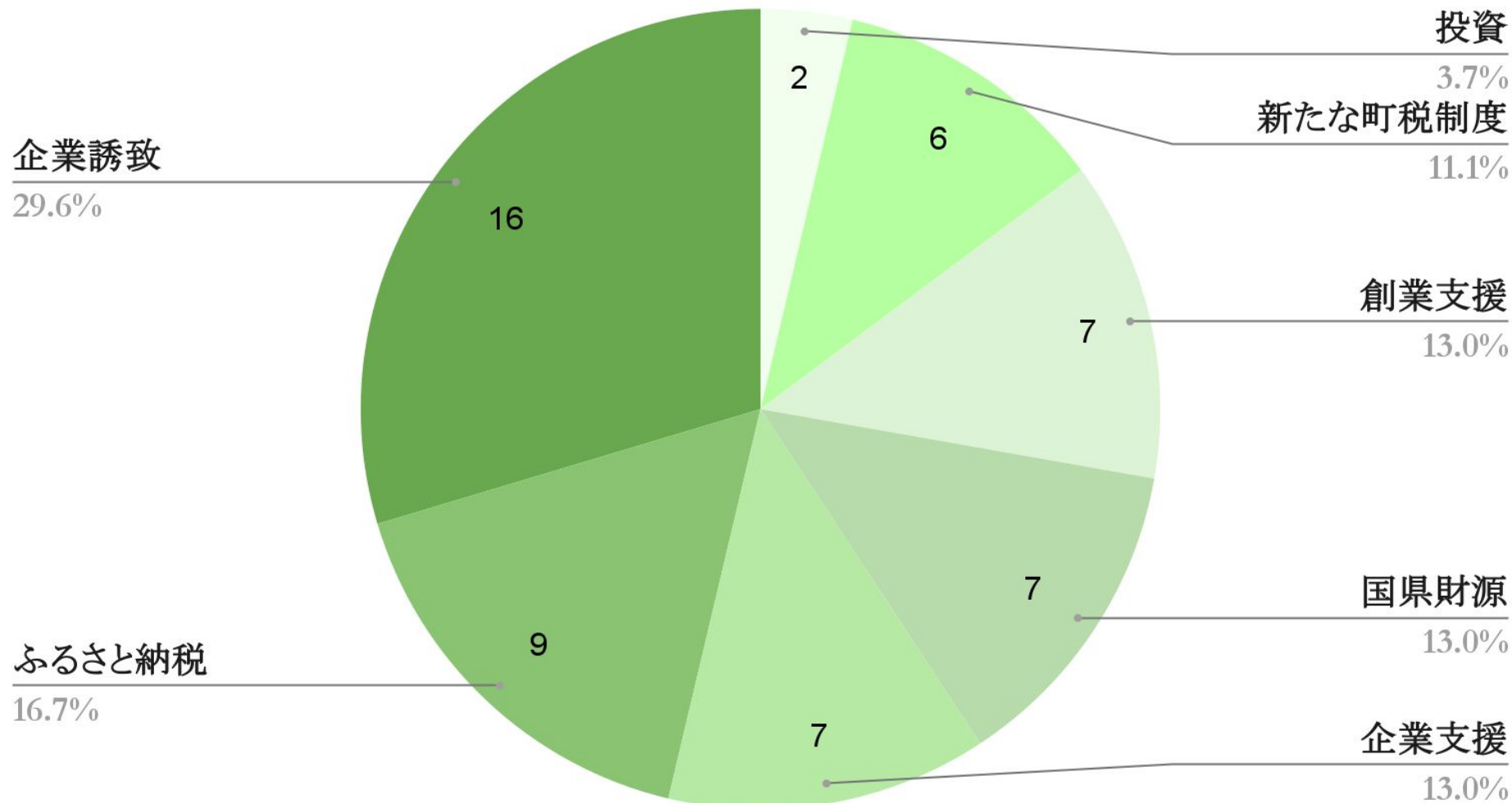
【投資(収入増)】テーマごと:観光


テーマが分散したが、宿泊施設と消費単価増を求める声はまとまっている



【投資(収入増)】テーマごと:収入源確保

企業誘致・企業 / 創業支援など企業に関する意見が多い





**総合計画(後期)にて
各課の住民福祉の向上に向けた
選択と投資の施策に加える**

